



明日へ

学校教育目標

自律:自ら考え、判断し、行動する生徒

尊重:自他を理解し、協働する生徒

創造:健全な精神と豊かな発想で、創意工夫する生徒

学校テーマ ～みんなで創る！ 夢・実現する学校～

高校生から学ぶ平和学習

9月26日(金)、県内外で活動する首里高校生の「NEO 同好会」の皆さんを講師に招いて、2年生対象の「高校生から学ぶ平和学習会」を実施しました。

本校では、戦後80年の節目にあたり、全学年で様々な学習形態の平和学習に取り組んでいますが、今回は年齢の近い高校生から、直接ピースメッセージを伝え聞き、さらには中学生自身が平和に関するグループワークやペープサート(人形劇)を実践する学びとなりました。



3年生親子高校入試説明会

10月1日(水)、3年生とその保護者を対象にした高校入試説明会を行いました。

昨年度から高校入試の実施方法が大きく変更になったことをうけ、令和8年度(令和8年高校入学)の入試に向けて、その実施方法や出願手続き等を確認し、入試がスムーズに進められることをねらいとしています。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中でのご来校ありがとうございました。



弁護士から学ぶ いじめ防止授業

10月2日(木)、4名の弁護士を講師に1学年への「いじめ防止授業」を実施しました。

県外で起きた2件のいじめ重大事件、いじめの4構造(いじめられる側・いじめる側・いじめをあおる側・そばで見ていない側)でいじめを止める方法等、講師からの問いかけに1年生の皆さんは、自分なりの考えを真剣に答えていました。

※右に続く

～生徒からお礼の言葉～

久田 詩乃さん(1-1)

今日はいじめの怖さを教えてくれてありがとうございます。私が一番心に残ったことは、私たちがちょっとしたいじめをしたら先生や親に怒られます。大人の世界でも子どもの世界でも、ちょっとしたいじめでも立派に犯罪だということが心に残りました。また、いじめを誘われても止めたり注意することが大切だし、いじめをされている側の味方になってくれると相手も少し軽い気持ちになってくれると話を聞いてわかったし、私たちが身近に感じないといけないことだと思いました。

岩切 心祐さん(1-2)

天久弁護士の話をして、僕たちにはそれぞれ守られるべき人権があり、どんなことがあってもいじめはやってはいけないということがわかりました。コップの水があふれてしまわないように、友達が苦しんでいたら味方になってあげたり、声をかけてあげたり一人にさせない、一人にしないようにしていきたいです。豊崎中からいじめが起こらないようにしていきたいです。

大嶋 朱乃さん(1-3)

今日は私たちのためにいじめ防止授業をしてくださりありがとうございます。話の中でいじめを見て見ぬふりをしているのも、いじめをしている人と同じだということがわかりました。今、自分のまわりにはいじめられている人もいじめている人もいないけど、もしそういう人がいたら止めることができるかどうか分からないけど、違う方法で止めたり、その子の気持ちを変えることはできないか考えていました。例えば、遊びに誘ったり相談にのってあげるのもよい方法だと思いました。もし、自分がいじめられたら直接やめると言うことはできないかもしれないけど、先生や信頼できる人に相談しようと思いました。今日の話を聞いて、いじめは何かあってもだめだということを改めて知ることができました。いじめ防止授業をしてくださり、ありがとうございました。

大城 明人さん(1-4)

今日は、いじめ防止授業をしてくれてありがとうございました。講師の方が「心のコップがあふれたら危ない」と言っていたから、みんなのことを考えて行動していきたいと思いました。1年生の残りの半年、みんなと仲良く過ごしていきたいです。ありがとうございました。

